

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	下妻市訪問型家庭教育支援チーム URL:なし
活動開始年度	平成 29 年度
活動拠点	下妻市教育委員会 生涯学習課内
活動範囲	下妻市内(対象:公立・私立 保育園、幼稚園、認定こども園)
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>4</u> 人 元幼稚園教諭3人、元教員(学校心理士) 1人
具体的な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度5歳になる幼児をもつ保護者を対象に、家庭訪問などの機会を通して、支援員が保護者と面談を行う。支援員は、傾聴を通して保護者の気持ちに寄り添う。支援員は、必要に応じて保護者に助言を行う。 ・ 支援対象保護者の決定は、保健センターにおいて行われる新規事業の「5歳児発達相談」との協力・連携のもと進めていく。 ・ 保護者同士の交流の場を設定する。今年度は、「親子料理教室」を開催する。親子料理教室を通して、保護者同士の交流が生まれることで、保護者の社会的孤立を防ぐことが期待される。また、親子料理教室では、親子同士の関わり合いの様子もつかむことができる。 ・ 家庭訪問や親子料理教室で得た情報は、関係する保育園や幼稚園、認定こども園へ提供をする。また、必要に応じて関係機関(子育て支援課、児童相談所、警察など)にも情報を提供する。 ・ 以上の様に保護者及び保護者を取り巻く関係者(園、保護者同士、保健センター、関係機関など)などの関わりを通して、保護者の「精神的安定」や「よりよい子どもへの関わり」を図り、子どもの健やかな成長へつなげていきたいと考えている。

<p>活動を通して感じていること (成果、課題など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者は、支援員との面談を通して、子育てに関する不安や悩みを打ち明け、自己開示をしてきている。面談後は、次回の面談も希望している。面談を重ねるごとに、支援員との人間関係も深まり、保護者の表情も明るくなってきている。 ・ 面談で得た情報を、関係各園や保健センターに提供することにより、関係者は、得た情報を生かした保護者や幼児への関わりができてきている。今までとは違った関わりは、保護者や幼児を取り巻く環境の変化をもたらしてきている。 ・ 本事業の最終的な目標は、「保護者の支援を通して幼児の健やかな成長を図る。」ことである。現在のところ、保護者の支援を通して、幼児の成長にどのような影響を与えているという見取りができていないことが課題である。
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等)下妻市教育委員会生涯学習課 (TEL)0296-43-2111 (E-mail)shougai@city.shimotsuma.lg.jp</p>